出雲北陵月報

No. 429
令和３年５月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

総体を前に各部が躍動!!

卓球部

男子団体12回目の優勝(3連覇)!
個人戦シングルス・ダブルスを共に制す!

第68回中国高等学校卓球選手権島根県予選大会
時　4月23～25日
於　松江市総合体育館

〈男子団体〉**優勝**
〈男子シングルス〉
優勝　原田哲多(3-4北陵)
2位　杉浦大和(2-2北陵)
3位　王　翊翔(2-2西津)
　　佐藤卓斗(1-4北陵)
〈男子ダブルス〉
優勝　山本淳史(2-3穴生)・小川さくら(1-1平野)
2位　王　翊翔・佐藤卓斗
3位　原田哲多・杉浦大和
※県予選を突破したシングルス6名、ダブルス3組が県代表として中国大会への出場権を獲得。

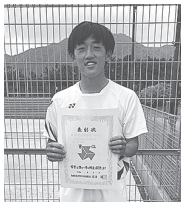
○大会総評
　団体戦は出場した選手がそれぞれ持ち味を発揮し、1ゲームも落とさず12回目の優勝を果たすことができた。決して慢心することなく、6月の県高校総体でも完全優勝できるようにチーム一丸となって戦いたい。
（顧問　古瀬泰之）

団体戦優勝メンバー

男子ソフトテニス部

令和3年度ソフトテニス県高校シングルス大会
時　4月17日
於　浜山公園テニスコート

優　勝　神田好太郎(3-2東派)
(6月に北海道で開催されるハイスクールジャパンカップへの出場権を獲得)
ベスト8　岩崎遥平(2-5一出)


優勝した神田選手

○大会総評
　3年生の神田が決勝まで失ゲーム0という内容で勝ち上がり、最後は接戦を制して優勝した。この結果、6月に開催されるハイスクールジャパンカップへの出場が決まった。
（顧問　佐々木雄志）

令和3年度ソフトテニス中国大会県予選
時　4月23～25日
於　浜山公園テニスコート

〈団体〉**準優勝**
【団体メンバー】
(神田好太郎、岩崎遥平、木村蔵人(2-2東斐)、青木快生(2-4南出)、高橋拓眞(2-3久米)、陰山晃成(2-2西斐)、川角悠太(2-1社大)、江角虎哲(2-2南河))

2回戦	本校	③－0	江津
準々決勝	本校	②－0	松江東
準決勝	本校	②－0	出雲
決　勝	本校	1－②	松江工業

〈個人〉
ベスト16　神田好太郎・岩崎遥平
　　木村蔵人・青木快生
ベスト32　野津広人(3-3南河)・堀江結太(1-3一出)
　　川角悠太・江角虎哲

○大会総評
　県総体のシード権を決める大切な試合であったが、団体、個人とも悔しい結果となった。総体までの残りの期間を大切にし、しっかりと精進したい。
（顧問　佐々木雄志）

テニス部

県高校個人テニス選手権大会
時　4月24・25日
於　松江総合運動公園

〈男子シングルス〉
ベスト8　石川泰丞(2-2北陵)
ベスト16　橋本脩平(3-1南河)
〈男子ダブルス〉
3　位　橋本脩平・石川泰丞
〈女子シングルス〉
1回戦敗退

陸上競技部

シーズン開幕!　2名が自己記録更新

第75回出雲陸上競技大会
時　4月10・11日
於　浜山公園陸上競技場

田中　陸(2-1陽向)	400m	自己新
小瀧愛結美(3-5北陵)	800m	自己新

3名が入賞、県総体に向けて弾み

第104回全山陰陸上競技大会
時　4月24・25日
於　松江総合運動公園

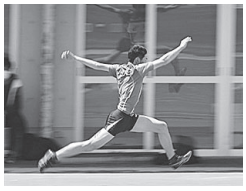
柳谷怜映(3-2東出雲)	三段跳	4位
永岡歩望(3-4北陵)	400mH	6位
小瀧愛結美	800m	5位

ダブルス3位の橋本・石川組

○大会総評
　男子は、個人・団体ともに県総体のシード権を獲得することができた。今後練習に励み、レベルアップして県総体に臨みたい。女子は勝利できず敗退したが、県総体では結果を出してくれるものと信じている。
（顧問　石川剛亘）

第75回島根陸上競技選手権大会
時　5月2・3日
於　浜山公園陸上競技場

柳谷怜映　三段跳　7位


大きなホップ・ステップ・ジャンプ

女子ソフトテニス部

令和3年度ソフトテニス県高校シングルス大会
時　4月17日
於　浜山公園テニスコート

今年度から女子ソフトテニス部が創部となり、最初の大会となった。1名の参加で結果は2回戦敗退であったが、今後につなげていきたいと思う。

（顧問　金森　快）

令和3年度ソフトテニス中国大会予選
時　4月23日～25日
於　浜山公園テニスコート

個人戦1ペアのみの参加となった。結果は3回戦敗退。県総体に向けて頑張っていきたいと思う。

（顧問　金森　快）

野球部

8年ぶりのベスト8進出！

島根県高等学校春季野球大会中部地区予選
時　4月17日
於　平田愛宕山球場

邇摩	2	0	1	0	0	3			
本校	7	3	1	4	×				15

島根県高等学校春季野球大会
時　4月24・25日
於　益田市民球場

本校	0	0	1	3	0	0	3	1	8
益田翔陽	0	0	0	1	1	0	1	0	3

準々決勝

本　校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立正大淞南	1	0	5	2	0	2	×		10

○大会総評

今大会は、8年ぶりのベスト8という成績であった。選手達は日頃の練習の成果を存分に発揮したが、準々決勝で敗れ、力の差を痛感することになった。しかし、夏の大会へ向けて多くの課題を発見することができた。今後は更なる高みを目指して、出雲北陵の野球に磨きをかけていきたい。当日は遠方ながら多数の方々に球場へ足を運んでいただき有難うございました。

（顧問　陶山浩史）

吹奏楽部

第25回吹奏楽部定期演奏会
時　5月8日
昼の部：14時開演
夜の部：18時30分開演
於　出雲市民会館大ホール

2年ぶり25回目となる吹奏楽部定期演奏会を開催した。昨年はコロナウイルス感染症拡大のため中止となり、悔しい思いをしたが、本年は会場の感染症対策に配慮し、人数制限、座席の指定、演奏時間などについて企画段階から保護者の方々と綿密な打ち合わせを行い、万全の体制で本番に臨んだ。昼の部・夜の部と2回公演を行い、延べ1000人を超えるお客様をお迎えし、会場が一体となるコンサートとなった。

スペシャルゲストには、トロンボーン奏者の若狭和良氏をお招きした。観客を魅了する美しい音色と卓越した技術、色彩豊かな音楽表現に観客は大いに盛り上がり、共演をした部員達にとっても大変貴重な経験となった。

この演奏会を開催することができたのも、地域の方々や保護者会の皆様をはじめ、多くの方々の支えがあってのことであり、部員一同感謝するとともに、今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらず精進していきたい。

（顧問　竹内康貴）

合唱部

永井隆記念館竣工式典
時　4月18日
於　永井隆記念館

永井隆記念館が4月20日にリニューアルオープンすることを記念して、竣工式典が行われた。当日は山陰フィルハーモニー管弦楽団の方々と、モーツァルトの「アヴェ・ヴェルム・コルプス」や永井隆さん本人が作詞された「あの子」を演奏した。

今年度初めての本番で、生徒達は緊張しながらも練習の成果を存分に発揮し、来場された方々に素晴らしい演奏を届けることができた。また、山陰フィルの皆さんとともに演奏するという貴重な経験をすることができ、生徒達はとても喜んでいた。このような記念すべき式典に参加させていただいたことを誇りに思い、これからも精進していきたい。

（顧問　齋藤茉耶花）

一斉書写

4月16日、中高揃って「一斉書写」を実施した。新年度のすがすがしさと、静かで緊張感ある雰囲気の中、生徒達はそれぞれ真剣に取り組んでいた。

非日常を体験することで、今後の活動に生かしてくれるものと信じている。

高校生徒総会開催

5月18日、生徒総会が行われた。今回は、コロナ禍のため、放送により各教室で聞く形となった。原田哲多生徒会長のもと、生徒会執行部並びに専門部から今年度の活動について提案があった。今年度のスローガンは「Be excellent to each other～お互いに最高の存在であれ～」である。生徒会行事が色々と制限を受ける中で、模索し自分達ができることを考える生徒会であって欲しい。全校生徒が協力し、生徒会を盛り上げてくれると期待している。

中学校

卓球部

第17回出雲市オープン卓球選手権大会
時　4月24日
於　平田体育館

〈男子団体〉**優勝**
予選リーグ
1位　4勝0敗
決勝トーナメント
準決勝　本校　3－0　松江三
決　勝　本校　3－1　湖北

○大会総評
　新入生が加わり、新チームで参加する初めての大会であったが、3年生を中心によくまとまっていた。
（顧問　相場翔太）

第44回島根県中学生卓球選手権大会
時　5月3日
於　松江総合体育館

〈男子団体〉**準優勝**
決　勝　本校　2－3　松徳学院
〈男子個人〉
優　勝　小野泰和（中3-1鏡山）
2　位　田中悠斗（中3-1影面）
ベスト8　濵田都希（中3-2浜村）

○大会総評
　悔しい敗戦ではあったが、選手一人ひとりが着実に成長していることを実感できた。夏の総体に向けて頑張らせたい。
（顧問　相場翔太）

テニス部

中国ジュニアテニス選手権大会県予選
時　5月2日
於　松江総合運動公園

〈14歳以下男子シングルス〉1回戦敗退

○大会総評
　出場した3年生2人は、力はつけてきたものの、初戦敗退した。今後の大会で勝てるよう、更に精進を続けたい。
（顧問　石川剛亘）

男子ダブルス中国大会(広島)出場決定！
全国中学生テニス選手権県予選
時　5月8日
於　松江総合運動公園

〈男子ダブルス〉
2位　北脇正梧（中3-2北陽）・内藤亮輔（中3-1北陽）

ダブルス2位の北脇・内藤組

○大会総評
　北脇・内藤組は、初戦第2シードとの試合で落ち着いたプレーを見せ、見事勝利を収めた。後の試合でもミスはあったが収穫もあり、課題を見つけることができた大会であった。
（顧問　石川剛亘）

野球部

全日本少年軟式野球大会出雲支部予選
時　4月17日
於　浜山少年球場

一回戦　本校　1－3　多伎

出雲部中学校春季野球大会
時　5月3日
於　斐川球場

一回戦　本校　0－1　斐川西

○大会総評
　二大会とも悔しい負け方であった。この一ヶ月練習に励み、市総体では悔いの残らない試合をしたいと思う。
（顧問　手銭修司）

春季野外活動

時　4月21日
於　浜山公園

　本校恒例の春季野外活動を中学校のみで実施した。
　道中、近所にお住まいの方々にも声を掛けていただきながら、ゴールを目指して歩いた。中学校1・2年生にとっては初めての経験で、苦しいこともあったようだが、友人とお互いに励まし合いながら歩き、無事、活動を終えることができた。
　この経験をこれからの中学校生活に生かして欲しいと思う。

授業参観・保護者会総会開催

時　5月11日
於　北陵ホール他

　5時間目に授業参観、6時間目に保護者会研修を行い、続いての総会では昨年度の事業及び決算の報告、今年度の役員選出及び事業計画と予算案の審議がなされ、すべて承認された。
　本年度保護者会新役員の皆様は次の通り。

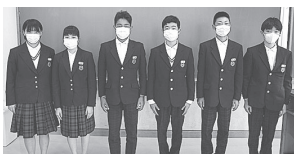
会　長　塩野　稔昭　様（3年）
副会長　陰山　正広　様（3年）
副会長　高橋　英樹　様（2年）
監　事　内藤　孝志　様（3年）
監　事　藤原　祐樹　様（1年）

生活安全教室兼保護者会研修

時　5月11日
於　北陵ホール

　生活安全教室「ネットモラル教室」を、出雲警察署生活安全課少年補導職員　森脇小百合様を講師としてお招きし実施した。スマートフォンを使用する際の注意事項や、家庭でのルール作りの大切さ、そしてSNS利用の危険性を改めて知ることができた。生徒の感想の中でも「スマートフォンはとても便利だが、同時に危険なものでもあることに気付くことができた」、「動画などで誹謗中傷のコメントで命を落とす人もいるので、ネットへの書き込みには注意したい」、「写真1枚で場所や人物が特定される可能性があることは怖いと思った」など、自分の行動を振り返ることができた良い機会となった。

中学校生徒総会開催



　5月18日、生徒総会が行われた。今年度は密を避けるため、各教室にリモートで映像を繋ぎ、職員室からの一斉放送で生徒会執行部と各専門委員会の目標と活動内容を発表した。それぞれのメンバーや目標、実施事項を確認し、生徒会長をはじめ、各委員長・副委員長が今年度の意気込みや、具体的な内容を全体に周知した。内藤亮輔生徒会長は「一人ひとりが過ごしやすい中学校を作る」ことを目標に、各専門委員の取りまとめをしたり、学校行事を盛り上げていきたいと話してくれた。生徒会を中心により良い中学校を作っていってくれるよう期待したい。

作品と研究

4月21日に本校の中学生と教員が学校と浜山公園を往復する野外活動を実施しました。昨年度は中止になったため、1・2年生にとっては初めて、3年生にとっては2年ぶりの活動となりました。

永井　初樹（中1塩）

4月21日㈬に、第三グランドから出発しました。その日はよく晴れていました。浜山公園までの片道8キロの道のりは、とても大変で疲れました。だから、着いた時は思わず、「やっと、着いたー。」と言ってしまうくらいでした。なにせ、足が棒のようになっていて、しゃがむとジーンとしびれたからです。しかも、その日は、太陽がギラギラ照りつけてきたのでお茶が足りなくなってしまうのではと思いました。来年もあったら、もっと大きい水とうを持って行こうと思いました。

浜山公園に着いたら、まず写真を撮りました。その時私は、「お腹がすいたな。」と思っていました。だから、お弁当を食べた時、とてもうれしく感じました。お弁当を食べている時にハチがよくやってきて少し怖かったです。食べ終わった後に、友達と一緒に「天空のとりで」という遊具で鬼ごっこをして遊んだので楽しかったです。帰りは他の子と色々しゃべりながら帰りました。学校が見え始めた時すごくうれしかったです。

荒瀬　翼（中2大津）

中学校で野外活動がありました。北陵中学校から浜山公園まで往復しました。片道8キロというとても長い道のりでした。私は楽しみと不安を持って挑戦しました。

当日、第三グランドで出発式を行いました。校長先生のお話を聞き、本当に歩ききれるのか少し不安になりました。友達と北山の緑を楽しみながら歩きましたが、やはり道のりはとても長く、大変でした。私は1月に部活動で浜山公園から北陵中学校まで走りましたが、その時よりとても時間がかかり、精神との戦いでした。ドームを越え、ワイナリーまで行けばもう少しでした。浜山公園で弁当を食べると、すぐに帰りの時間となりました。帰りは行きにくらべ圧倒的に大変でした。友達と話す気力もなく長い道のりを精神と戦いながら歩きました。途中で会った柴犬にいやされたり、地域の人に応援されたりしながら頑張りました。その時に、生活以外でも色々な人に助けてもらっているのだと思いました。ドームを越え、ラストスパート。地面をしっかり踏んで太陽の光にも負けないくらいの力で頑張りました。ゴールした時に達成感を感じ、今日頑張って良かったと思いました。

野外活動を終えて、私は頑張ることの大切さを感じました。また、今までの自分は上手くいかないとすぐにあきらめていましたが、周囲の人に応援されて力をもらっていることにも気づくことができたので、これからは、何ごとも最後まで頑張ろうと思いました。

馬庭　優太（中3-1高松）

私は、今回の野外活動で一番印象的だったのは歩いたことです。この活動は長い道のりを歩くと知っていたので不安でした。しかし、1年生の時に経験していることもあり、思った以上に早く着きました。私は1年生と仲良くなりたかったので、声をかけて遊具で遊びました。そして、クラスメイトと弁当を食べました。また、最初は話しづらかったのですが、話をしたことがない人とも少しずつ話をすることができました。浜山公園での昼食休憩が終わると学校に向かい出発しました。帰りの道のりはすごくきつかったです。まったく足が進まず、歩いても歩いても学校に着きませんでした。しかし、先生方に「頑張れ」と声をかけてもらいすごく力がわいてきました。新しく入られた先生方とたくさん話をできたことも印象に残りました。一回も話したことのない先生とも話せて良かったなと思いました。

私はこの活動で、普段は歩かない距離を歩き通したこと、普段は話さなかった人と話したことなどが印象に残り自信になりました。この経験をいかして、今後の学校生活を頑張りたいです。

土江　華奈（中3-2平田）

コロナウイルスの影響で行事が減っていく中、私達3年生にとって数少ない貴重な行事が行われました。昨年は、野外活動は中止になりましたが、今年は感染対策を十分にしたうえでの開催でした。マスクをしたり、手指消毒をしたりと慣れない環境で始まりました。しかし、3年生みんなが、ルールを守ったうえで、楽しくしようとしていて、不便な部分もなかったかのように楽しむことができました。

私が一番楽しかったのは移動の時間です。この活動の半分以上が移動の時間ということもあり、今まで以上に、みんなとの仲を深めることができたと思います。帰りには、みんなでゲームをしたり、色々なことを話したりしました。最近、私のコミュニケーション手段はスマートフォンが多くなっていました。しかし、改めて友達と話すことの楽しさや、携帯ではできない感情や表情でのやり取りの大切さを知ることができました。

この野外活動を通して、色々なことを学んだり、自分を見つめなおしたりすることができ、本当に内容の濃い野外活動になったと思います。3年生みんなでできる行事も数えられるほどになりました。その一つひとつの行事を大切に過ごしたいと思います。

今月の1枚

「夢現」

藤原あやか（3-6大二）